

ホームページ用の情報

申請者名
外科学教授
長谷和生

課題名
高齢者大腸癌患者（76歳以上上限なし）に対する抗癌剤治療の現状調査

研究対象

－下記の調査期間中に、切除不能進行再発大腸がんで一次化学療法を開始した患者（但し、6ヶ月以前に終了した補助化学療法施行例は対象とする）、および Stage III 治癒切除大腸がん患者

－年齢が 76 歳以上（年齢計算は、切除不能進行・再発例及び術後補助療法例とも、抗癌剤治療開始日での年齢とする）

－調査期間は 2002 年 1 月 1 日から 12 月 31 日および 2007 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの 1 年間に何らかの抗癌剤治療開始された症例（切除不能進行・再発例）または手術が実施された症例（術後補助療法例）

連絡先

TEL 04-2995-1511 内線 2356 外科学 長谷和生

お知らせ

「大高齢者大腸癌患者（76歳以上上限なし）に対する抗癌剤治療の現状調査」のお知らせとお願い

本邦においては、大腸癌は全悪性腫瘍のなかで罹患率（年齢調整推定値）では男女とも第2位（1999年）、死亡率では男性第4位、女性第1位（年齢調整）と増加の一途を辿っています（2005年）。防衛医科大学校病院外科では年間 250-280 例の大腸癌初回手術を行っております。

日本人の高齢化とともに高齢がん患者数の急増が認められ、実際の治療対象になる大腸癌の患者さんが明らかに従来よりも高齢者にシフトしている傾向があります。高齢者の定義は 65 歳、70 歳、75 歳などいくつか提唱されていますが、臨床試験での検討が十分されていないという意味において 76 歳以上の高齢者患者さんに一般の患者さんと同様の抗癌剤の治療が行えるかどうかの検討が必要になってきています。

大腸癌研究会の化学療法プロジェクト委員会は、今回、日本の代表的な 12 施設を対象に後向き調査を実施することにより、高齢大腸がん患者さんに対する抗がん剤治療の標準化を目指した研究を行うこととし、その第一段階として下記の 2 点について調査研究を実施することになりました。

- 1) 手術で取り切れない患者さんや再発をきたした大腸癌患者さんにおける抗癌剤治療の現状
- 2) 手術で取り切れた患者さんのうち、Stage III 大腸癌の患者さんに対する術後補助療法の現状

ー調査対象期間は 2002 年 1 月 1 日から 12 月 31 日および 2007 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの 1 年間に何らかの抗がん剤治療開始された患者さん（切除不能進行・再発例）または手術が実施された患者さんで術後補助療法をお受けになった患者さんです。

参加予定施設（12 施設）

がんセンター：国立がんセンター中央病院、愛知がんセンター中央病院、静岡がんセンター、四国がんセンター

大学病院：東京医科歯科大、防衛医大、筑波大、九州大

市中病院：都立駒込病院、山形県立中央病院、広島県立病院、高知医療センター

調査項目

解析 A) 切除不能進行・再発大腸癌

- ① 施設の切除不能進行・再発大腸癌の年間症例数（初回化学療法例、但し 6 ヶ月以前に終了した補助療法は適格）
- ② ①のうち、76 歳以上の患者数
- ③ ②のうち、抗がん剤治療を受けた患者数、及び受けなかった患者数
- ④ 抗がん剤治療を受けた患者の治療レジメンと投与量。分子標的薬の使用例数。二次化学療法を行った数
- ⑤ 抗がん剤治療を受けなかった患者の理由。

解析 B) 術後補助療法

- ① 施設の Stage III 治癒切除大腸癌患者数
- ② ①のうち、76 歳以上の患者数
- ③ ②のうち補助療法を受けた患者数、及び受けなかった患者
- ④ 補助療法を受けなかった理由
- ⑤ 再発時に抗がん剤治療を受けた患者数

実施場所

防衛医科大学校外科

全研究期間は 2012 年 3 月末までを予定しています。

本研究は、今後、研究のために患者さんから検体を採取したり投薬をしたりすることはなく、これまでの外来及び入院治療での既存資料等のみを用いる後方視的研究です。

患者さんの臨床データは ID 等の個人情報とは無関係な番号付与による匿名化によって管理され、その他通常の診療と同様にプライバシーが保護されます。また、防衛医科大学校病院外科で 2002 年 1 月 1 日から 12 月 31 日および 2007 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までの 1 年間に何らかの抗がん剤治療開始された患者さん（切除不能進行・再発例）または手術が実施された患者さんで術後補助療法をお受けになった患者さんで、ご自分の治療経過等の臨床データを研究に使わないで欲しい、というご希望が有れば、下記の連絡先までご連絡をいただけますようお願いいたします。

なお、研究への使用の拒否の意思を表明されても、防衛医科大学校病院外科における診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益をこうむることはありません。

防衛医科大学校病院外科

TEL 04-2995-1511 内線 2356 外科学 長谷和生